

## Q16-「はんば」って何？

A- 褐藻 シオミドロ目 カヤモノリ科 セイヨウハバノリ属 (*Petalonia*) に属するハバノリ (*Petalonia binghamiae*) のこと。かつてはハバノリ属 (*Endarachne*) に属し *Endarachne binghamiae* とされていました。外洋に面する岩盤の潮間帯に生育する幅 2~3cm、長さ 8~13cm の葉状の海藻です。秋に芽生え、冬季中によく繁茂し、春に成熟して晩春に枯れて流失する。太平洋沿岸では宮城県金華山以南に、日本海沿岸では佐渡以南に、韓国南部・九州・琉球諸島の沿岸に分布しています。産地では生鮮のまま味噌汁の実などにされていますが、多くは粗製の抄製品(乾燥品)として販売されています。乾燥品はちぎって味噌汁に入れたり、焼いて(あぶって)酒のつまみにしたりします。国内全般に流通するほど一般化されてはいませんが、太平洋側では千葉、神奈川、伊豆諸島、伊豆半島などで、日本海側では鳥取、島根などで賞用されてきました。「はんば」というのはいわゆる方言(地方名)で、関東地方ではハンバあるいはハバモ、徳島県ではメンソ、鳥取県出雲地方ではカシカメ、鳥取県野津地方ではノツモバなどの呼び名で主に抄製品が扱われてきました。